



第3回 インクルーシブセーリング 全日本選手権大会2024 パラセーリング 全日本選手権大会2024



開催日 2024年10月18日(金)・19日(土)・20日(日)
会場 和歌山セーリングセンター



この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されます。

第3回 インクルーシブセーリング全日本選手権大会2024 ・パラセーリング全日本選手権大会2024 実施要項

共同主催 公益財団法人日本セーリング連盟、和歌山県セーリング連盟
後援 公益財団法人日本パラスポーツ協会、日本ハンザクラス協会
協力 特定非営利活動法人和歌山セーリングクラブ
協賛 ロート製薬株式会社



開催日程 2024年10月18日(金)・19日(土)・20日(日)
会場 和歌山セーリングセンター 〒641-0017和歌山市毛見1514
競技種目 インクルーシブ全日本選手権大会

- (1)ハンザ2.3 シングル
- (2)ハンザ303 シングル
- (3)ハンザ303 ダブルス

パラセーリング全日本選手権大会

- (1)ハンザ2.3 男子シングル
- (2)ハンザ2.3 女子シングル
- (3)ハンザ303 男子シングル
- (4)ハンザ303 女子シングル

参加資格 パラセーリング大会はJSAFの会員であること、ワールドセーリングへID登録していること、有効なクラス分けポイントを取得していること。未成年の場合は、親権者の承諾を必要とする。

参加料 (1)ハンザ303 クラス ダブルハンド 10,000円
(2)ハンザ303 クラス シングルハンド 7,000円
(3)ハンザ2.3 クラス シングルハンド 6,000円

その他 JSAFパラセーリング委員会が指定するパラセーリング全日本選手権大会では、2024年度の強化選手の認定規則の適用があり、パラセーリングクラスではハンザ303(1人乗り)、ハンザ303女子(1人乗り)参加隻数が10艇以上であれば3位以内、10艇未満から5艇以上で2位以内、5艇未満から3艇以内で1位を強化選手として認定する。

レース公示 (NoR)

1 適用規則

1.1 本大会には『セーリング競技規則』に定義された規則が適用される。

1.2 RRS定義に基づくその他の文書:規則(g)には以下が含まれる:-

a) ワールドセーリングの準分類規則は、このレース公示によって修正されたとおりに適用する。

b) パラワールドセーリングレース管理マニュアル(RMM)は、このレース公示によって修正されたとおりに適用する。

1.3 国際ハンザクラス規則を適用する。

1.4 RRS40、44、P2、49.1、61.1、63.3、パート4の前文を次のように変更する:

a) RRSパート4の前文に追加:ルール40個人用浮揚装置;「Y旗を掲揚していない場合でも海上にいる場合にはすべての艇に適用される」。

b) RRS44.1およびRRSP2.1を、次のように変更する:2ターンペナルティを1ターンペナルティに変更する。

c) RRS49.1を次のように変更する:

・競技者の臀部は、レース中は常にシートの座面に接触したままであり、シートのサポートバーに座ってはならない。

・一人乗りの配置-競技者は、下肢がジョイスティックとキールケーシングにまたがる体勢でレースをしなければならない。

・二人乗りの配置-各各競技者の下肢がキールケーシングのそれぞれの側にくるように、シートのそれぞれの側に座らなければならない。

・競技者の胴体は、コントロールラインを調整する場合を除いて、ジョイスティックの後方に位置しなければならない。

d) 規則61.1(a)抗議の通知の変更:「「プロテスト」の声かけは必須ではないが、可能な場合は行われるべきである。抗議しているボートは赤い旗を表示する必要はない。」

e) 規則63.3(a)審問についての変更:「審問の艇代表は、インシデントの時点で乗船している必要はない」。

2 帆走指示書

帆走指示書は、10/18までに大会ホームページに掲載する。

3 コミュニケーション

3.1 大会ホームページを設置する。

3.2 レース中、緊急時を除いて、艇は音声またはデータ送信を行ってはならず、すべての艇が利用

できない音声またはデータ通信を受信してはならない。この規制は携帯電話も対象となる。

4 出場資格及び申し込み

4.1 インクルーシブセーリング全日本選手権大会には、次のクラスに参加できる。

- ハンザ2.3 1人乗り
- ハンザ303 1人乗り
- ハンザ303 2人乗り

4.2 パラセーリング全日本選手権大会には、次のクラスに参加できる。

- ハンザ2.3 1人乗り
- ハンザ303 1人乗り

4.3 パラセーリング全日本選手権大会の参加者は、ワールドセーリングのセーラーズIDを取得している。

4.4 パラセーリング全日本選手権大会の参加者は、既にクラス分けを受けて同大会に出場できる資格を持つか、大会時にクラス分けを受けて同大会への出場資格があると判定される。

4.5 対象となるボートは、電子エントリーフォームに記入し、必要な料金と一緒にイベントのウェブサイトに提出することでエントリーできる。

4.6 すべての登録要件を完了し、すべての料金を支払い完了した艇が参加できる。

4.7 レイトエントリーは、主催団体の裁量で受け付けられる。

4.8 参加定数に関して以下の制限が適用される：

- a) すべてのクラスでディビジョンが有効になるために必要なエントリーの最小数は3艇とする。

4.9 パラセーリング全日本選手権では、アスリートはワールドセーリングの直近のクラシフィケーション規則に従わなければならない。クラシフィケーションの実施日程は、8.1に定める。

a) ワールドセーリングのクラシフィケーション規則：

- ・競技者はワールドセーリングのクラシフィケーション規則に則った有効なクラス分けを受けた者としてします。
- ・クラス分けに対する抗議は、遅くとも「最初の登場」までに会場のクラシファイアーに対して提出することができる。

4.10 パラワールドセーリング(PWS)規則の下でランク付けされることを希望する全ての参加競技者は、PWS分類の証拠を提示しなければならない。登録時に分類医が立ち会う場合がある。

5 参加料

5.1 競技者の参加料は、次のとおりとする。

クラス	参加費
2.3 1人乗り	¥6,000
303 1人乗り	¥7,000
303 2人乗り	¥10,000

- 5.2 大会期間中の傷害保険料含む。ただし、往復旅程及びコーチ、付き添い者の保険は付保しない。
- 5.3 エントリー料には開会式と閉会式、レセプションが含まれる。
- 5.4 コーチ、引率者も登録(¥2,000※レセプションを含む)する必要がある。

6 参加申込

- 6.1 申込受付期限:2024年9月10日(火)
- 6.2 参加申し込みはGoogleフォームより行う
<https://x.gd/PiKf7>
- 6.3 ダブルハンドとシングルハンドの複数クラスへのエントリーはできない。
- 6.4 参加料は以下の口座に振込み、主催者からの確認メールにてエントリーが確定する。

振込先:三菱UFJ銀行 渋谷中央支店 普通0505247

ザイダンハウジンニホンセーリングレンメイ

※競技者の参加料及びチャーター料(15.1)はまとめて振込むこと。また、団体等で複数の競技者の参加料やチャーター料、及びコーチ、指導者の登録費をまとめて振込む場合は、明細をメールで送ってください。

7 広告

WS レギュレーション20(広告コード)に従って、ポートは、主催団体によって選択及び提供された広告を表示するように要求される場合がある。

8 日程

8.1 登録とクラシフィケーション

日程	開始	終了	会場
10月18日(金)	13:00	16:00	クラブハウス2階医務室
10月19日(土)	9:00	10:00	

※クラシフィケーションの登録受付方法は、別に定める。

8.2 計測

日程	開始	終了	会場
10月18日(金)	13:00	16:00	クラブハウス1階計測会場
10月19日(土)	9:00	10:00	

※計測の受付方法は、別に定める。

8.3 受付、開会式、選手ブリーフィング、レセプション、表彰式

10月18日(金)	12:00~	受付(~16:00)	クラブハウス1階艇庫前
10月19日(土)	9:00~	受付(~10:00)	
		10:00	開会式

	引き続き	選手ブリーフィング	クラブハウス2階会議室
	18:00	レセプション	クラブハウス2階会議室
10月20日(日)	16:00	表彰式	クラブハウス2階会議室

8.4 レースの日程

日程	最初の予告信号	クラス
10月19日(土)	12:00	ハンザ2.3 1人乗り
	12:10	ハンザ303 1人乗り ハンザ303 2人乗り
10月20日(日)	9:00	ハンザ2.3 1人乗り
	9:10	ハンザ303 1人乗り ハンザ303 2人乗り

8.5 19日(土)は、各クラスセッションで2 レースを予定し、後続のレースは前のレースの終了後できるだけ早く開始される。

8.6 20日(日)には各クラスセッションに3 レースを予定し、後続のレースは前のレースの終了後、可能な限り速やかに開始される。

8.7 各クラス最大5 レースを予定している。

8.8 レースの最終予定日には、14:00 より後に予告信号は発しない。

9 装備検査

9.1 チャーターボートを含むボートは、NoR8.2 に従って機器検査に利用できるものとする。

9.2 ボートはいつでも検査される。

10 レースエリア

NoR添付Aは、レーシングエリアの場所を示す。

11 コース

コースは、風上/風下またはトラペゾイドのいずれかとし、帆走指示書に記載する。

12 ペナルティー方式

12.1 すべてのクラスで、RRS 44.1を変更し、『2回転ペナルティー』を『1回転ペナルティー』に置き換えて、付則Pを適用する。

13 得点

13.1 RRS附則A、に規定された得点が適用される。

13.2 各クラスのシリーズの成立には、2つのレースの完了することが必要である。

13.3 ハンザ2.3および303一人乗りのパラワールドセーリング分類毎の得点は、競者に対して再計算せずに抽出される。

14 支援者艇

14.1 サポートボートには、大会実行委員会が配布している登録ナンバーが入ったピンク旗を付けなければならない。

15 チャーターまたは借用艇

15.1 主催者で用意した競技艇のチャーター料は、1艇5,000円(セール付き)とする。

15.2 チャーターできるボートの数には限りがあります。詳細はイベントのウェブサイトを確認できる。イベントのウェブサイトから予約リクエストを受け付ける。ボートは先着順で割り当てられる。

15.3 チャーターされたボートは、コンパスを船体またはスパーに結び付けるかテープで留めることができ、糸や糸を含む風向計をボートのどこにでも結び付けるかテープで留めることができることを除いて、いかなる方法でも変更してはならない。

15.4 追加の機器は、レース初日の前にクラス承認のRAEが発行され、アタッチメントがパンクせず、ボートの表面に接着されていない場合に使用できる。テクニカル委員会の書面による承認なしに、ボートのいかなる部分、その機器のスパーまたはフィッティング、または後で交換されたとしても取り外されたフィッティングに変更を加えてはならない。

15.5 競技者は、チャーターされた艇の損傷または紛失は、わずかであっても、艇を上陸させた直後にテクニカル委員会に報告しなければならない。この指示に違反した場合のペナルティーは、競技者が順守するために断固とした努力をしたとプロテスト委員会が承認しない限り、もっとも近いレースからの失格となる。

15.6 チャーターされたボートの機器の故障は、救済の理由にはならない。この項はRRS60.1(b)を変更している。

16 停泊

ボートは、セーリングセンター内の割り当てられた場所に保管されるものとします。

17 リスク・ステートメント

17.1 RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

18 保険

参加する各ボートは有効な第三者賠償責任保険に加入し、1人あたり最低10,000,000円または同等の保険に加入しなければならない。

19 賞品

19.1 インクルーシブ全日本選手権大会の賞品は次の部門で授与される:

- ハンザ2.3シングル全日本チャンピオン
- ハンザ303シングル全日本チャンピオン
- ハンザ303ダブルス全日本チャンピオン

19.2 パラセーリング全日本選手権大会の賞品は次の部門で授与される:

- ハンザ2.3男子シングル全日本チャンピオン
- ハンザ2.3女子シングル全日本チャンピオン
- ハンザ303男子シングル全日本チャンピオン
- ハンザ303女子シングル全日本チャンピオン

20 名前と画像を使用する権利

このイベントに参加することで、競技者は主催団体、大会スポンサーに、静止画または動画、映画、テレビの録画、およびあらゆる種類の自分の複製をいつでも使用および表示する権利を与え支援する事を認める事とみなす。また、イベントのすべてのサポートのために、ロイヤルティなしで自身自身のイメージを使用する権利を与えます。

21 大会の中止の条件

以下の場合、大会を中止することがある。

- a) 公的機関から大会中止の指示がされたとき
- b) 天候等の理由により主催団体が中止を判断したとき

22 問い合わせ先

大会事務局:和歌山県セーリング連盟事務局 E-mail:info@wakayama-sailing.org

帆走指示書

[DP]は、プロテスト委員会の裁量によりペナルティーを失格より軽減することができることを意味する。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 6 0.1(a)を変更している。

1 規則

1.1 大会には『セーリング競技規則』に定義された規則が適用される。

1.2 RRS定義に基づくその他の文書:規則(g)には以下が含まれる:-

a) ワールドセーリングの準分類規則は、レース公示によって修正されたとおりに適用する。

b) パラワールドセーリングレース管理マニュアル(RMM)は、レース公示によって修正されたとおりに適用する。

1.3 国際ハンザクラス規則を適用する。

1.4 RRS40、44、P2、49.1、61.1、63.3、パート4の前文を次のように変更する:

a) RRSパート4の前文に追加:ルール40個人用浮揚装置;「Y旗を掲揚していない場合でも海上にいる場合にはすべての艇に適用される」。

b) RRS44.1およびRRSP2.1を、次のように変更する:2ターンペナルティを1ターンペナルティに変更する。

c) RRS49.1を次のように変更する:

・競技者の臀部は、レース中は常にシートの座面に接触したままであり、シートのサポートバーに座ってはならない。

・一人乗りの配置-競技者は、下肢がジョイスティックとキールケーシングにまたがる体勢でレースをしなければならない。

・二人乗りの配置-各各競技者の下肢がキールケーシングのそれぞれの側にくるように、シートのそれぞれの側に座らなければならない。

・競技者の胴体は、コントロールラインを調整する場合を除いて、ジョイスティックの後方に位置しなければならない。

d) 規則61.1(a)抗議の通知の変更:「プロテスト」の声かけは必須ではないが、可能な場合は行われるべきである。抗議しているボートは赤い旗を表示する必要はない。」

e) 規則63.3(a)審問についての変更:「審問の艇代表は、インシデントの時点で乗船している必要はない」。セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。

2 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下「指示」という。)の変更は、それが発効する当日の9:00までに掲示する。

ただし、レース日程の変更は、発効する前日の18:00までに掲示する。

3 選手とのコミュニケーション

3.1 公式掲示板は、大会ホームページからリンクする下記のアドレスに設置する。

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/9862/event>

3.2 競技者への通告は、LINEオープンチャットを用いて通告することがある。

右のQRコードをスキャンし、確認コード **hansa** を入力することで招待が受けられる。 <https://x.gd/BUUN5>

[DP] LINEオープンチャットへの投稿は主催団体、レース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会に限り、競技者、支援者は投稿してはならない。

3.3 [DP] レース中、緊急の場合を除き、艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。



4 行動規範

4.1 [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発する信号は、和歌山セーリングセンター「クラブハウス」2階北側にある信号柱に掲揚する。
- 5.2 [DP][NP]音響1声とともに掲揚される「D旗」は、「予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、離岸してはならない。
- 5.3 指示6.1に示された個別のレースに対して「AP旗」は掲揚しない。予告信号予定時刻の30分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている。

6 レース日程及びフリート分け

6.1 レース日程

日程	最初の予告信号	クラス
10月19日(土)	12:00	ハンザ2.3 1人乗り
	12:10	ハンザ303 1人乗り、ハンザ303 2人乗り
10月20日(日)	9:00	ハンザ2.3 1人乗り
	9:10	ハンザ303 1人乗り、ハンザ303 2人乗り

- 6.2 10月19日(土)は、各クラス2 レースを予定し、後続のレースは前のレースの終了後、すみやかに行う。
- 6.3 10月20日(日)は、各クラス3 レースを予定し、後続のレースは前のレースの終了後、すみやかに行う。
- 6.4 各クラス最大5 レースを予定している。
- 6.5 10月20日(日)は、14:00 より後に予告信号は発しない。
- 6.5 1つのレース又は一連のレースが、間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色の「スタート・ライン旗」を掲揚する。
- 6.6 すべてのクラスで、インクルーシブセーリング全日本選手権大会とパラセーリング全日本選手権大会は同時にスタートさせる。また、ハンザ303は1人乗り、2人乗りを同時にスタートさせる。

7 クラス旗

クラス旗は次のとおりとする。

クラス	旗の色と形象
ハンザ2.3クラス	白地に青のハンザ2.3級旗
ハンザ303クラス	白地に赤のハンザ303級旗

8 レース・エリア

「添付図 1」にレース・エリアの位置を示す。

9 コース

- 9.1 「添付図 2」の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇船尾に、最初のレグのおおよそのコンパス方位を示す掲示板を掲示する。

10 マーク

10.1 回航マークは以下のとおりとする。

クラス	マーク1	マーク2S・P	変更マーク(SI 13)
ハンザ2.3クラス	青色の円錐型ブイ	ピンク色の円錐形ブイ	オレンジ色の円錐形ブイ
ハンザ303クラス	黄色の円錐型ブイ	ピンク色の円錐形ブイ	緑色の円錐形ブイ

10.2 スタート・マークはスターボードの端にあるレース委員会の信号船と、ポートの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする。

10.3 フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるレース委員会船と、ポートの端にあるオレンジ色の三角錐ブイとする。

11 障害物

11.1 「添付図 1」に示す。

12 スタート

12.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークのコースの側の間とする。

12.2 [DP][NP]予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。

12.3 スタート信号後、4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』(DNS)と記録される。これは規則A5.1とA5.2を変更している。

12.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会の信号艇以外の当該レース委員会艇が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および規則29.2を変更している。

13 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(又はフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを移動または除去する。

14 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にブルー色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークのコースの側の間とする。

15 ペナルティー方式

15.1 指示19の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対して、レース委員会は審問なしに20%の得点ペナルティーを課す。ただし、その艇は「フィニッシュしなかった艇」より悪い得点が与えられることはない。この項は、規則63.1、およびA5を変更している。なお、引き続きのレースが行われた場合には、指示19.1の手続きの誤りについては、その最初のレースのみにペナルティーを課す。

15.2 付則Pが適用される。

15.3 付則P2.3は適用されず、付則P2.2を変更し、2回目以降のペナルティーに適用される。

16 タイム・リミットとターゲット・タイム

16.1 各クラスのそれぞれのタイム・リミット、ターゲット・タイム及びフィニッシュ・ウインドを下表に示す。

クラス	マーク1のタイム・リミット	ターゲット・タイム	フィニッシュ・ウインドウ
ハンザ2.3クラス	15分	30分	15分
ハンザ303クラス	15分	30分	15分

16.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇も最初のマークを通過しなかった場合、レースは中止される。

16.3 規則30.3、30.4に違反しないでスタートした最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、フィニッシュ・ウインドまでにフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。この項は規則35、A4、A5を変更している。

16.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

17 審問要求

17.1 抗議または救済や審問再開の要求は、webサイトのオンラインフォーム [審問要求書フォーム](#) にて、適切な締切時間内に提出しなければならない。

17.2 [抗議締切時刻](#)はその日のすべてのクラスの最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。

17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に[掲示](#)する。審問は和歌山セーリングセンター新クラブハウス2階にあるプロテスト・ルームにて[掲示](#)した時刻に始められる。

17.4 審問の当事者は、翌日の9:00までに、公式掲示板の[審問要求書フォーム](#)にて審問の再開を要求することができる。ただし、WEBフォームにて提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局に持参して提出することができる。ただし、レースを行う最終日では、要求は次の時間内に提出されなければならない。

(1)要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時刻。

(2)要求する当事者が当日に判決を通告された後、15分以内。

この項は規則66.2を変更している。

18 得点

18.1 シリーズが成立するためには、2レースを完了することを必要とする。

18.2 複数のクラスが同時にスタートした場合もクラス毎に得点を記録する。

18.3 参加艇数とは、開会式までに大会受付を完了した艇数とする。

18.4 指示1.2により標準ペナルティーを課された艇の得点記録の略語は「STP」である。

18.5 艇は[掲示](#)された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、webサイトのオンラインフォーム[得点照会](#)にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請することができる。

19 安全規程

19.1 [NP]出艇しようとする競技者は、「レース申告受付所」で出艇申告として「航跡記録装置」を、その日の最初のレースのD旗掲揚10分後までに受け取らなければならない。出艇申告および帰着申告は「航跡記録装置」により自動的に進む。なお、「航跡記録装置」は、その日のレース終了後60分後までに返却しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。

- 19.2 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、リタイアの意思を近くのレース委員会艇に伝え、速やかにレース海面を離れなければならない。
- 19.3 レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。この項は、艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則6 2.1(a)を変更している。

20 [NP]装備の交換

[DP]損傷又は紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、[装備交換フォーム](#)または書面によりテクニカル委員会に行わなければならない。

21 装備と計測のチェック

- 21.1 艇又は装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 21.2 [DP] 水上でレース・オフィシャルに指示された場合、艇は検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

22 運営船の標識

運営船	識別旗
レース委員会船	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会船	赤地に白字「PROTEST」
救助船	緑地に白字「RESCUE」
メディア船	白地に緑文字「MEDIA」
テクニカル委員会船	白地に赤字「MEASUREMENT」

23 支援船

- 23.1 出艇から帰着するまでの間、「ピンク色旗」を明確に掲揚しなければならない。「ピンク色旗」はレース委員会で用意され、閉会式までに返却しなければならない。
- 23.2 艇および運営船の運航を妨げてはならない。また最初にスタートするクラスの予告信号時刻からすべての艇がフィニッシュするか、もしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまでは、支援艇はレースをしているエリアの100m以上の外側にいなければならない。
- 23.3 天候等の状況により、レース委員会から支援船に対する救助要請を行う場合、レース委員会艇に「ピンク色旗」を掲揚する。この場合、指示23.2は適用されない。「ピンク色旗」がクラス旗の上に掲揚された場合は、そのクラスのみに当該信号が適用される。

24 ごみの処分

ごみは、支援船又は大会運営船に渡してもよい。規則47[ごみの処分]参照。

25 [DP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

26 賞

賞はレース公示の通りとする。

27 リスク・ステートメント

RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる

。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

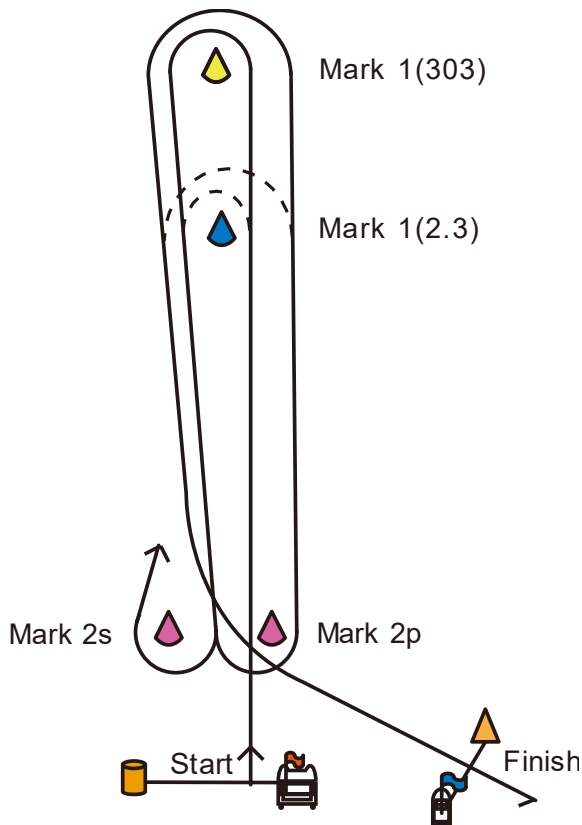
添付図 1 レース・エリア



障害物
南北方向に木杭がある

添付図 2 レース・コース

- コース L2 スタート→Mark1→Mark2S・P→Mark1→Mark2p→フィニッシュ
- コース L1 スタート→Mark1→Mark2p→フィニッシュ



エントリーリスト

第3回インクルーシブセーリング全日本選手権大会2024

ハンザ2.3 1人乗り

濱田 美穂	パラセーリング東京
平沢 秀徳	セイラビリティ江ノ島
岡野 敏文	セイラビリティ三重
吉川 昌吾	セイラビリティ三重
小出 幸四郎	セイラビリティ三重
河合 栄二	セイラビリティ三重
東谷 瞳	セイラビリティ三重
住田 泰	セイラビリティ広島あびの会
竹村 新一	セイラビリティ広島あびの会
芳岡 美帆	セイラビリティ高松
藤澤 逸郎	セイラビリティ高松
鈴木 孝則	セイラビリティ高松
河野 裕介	セイラビリティ高松

ハンザ303 1人乗り

長谷山 裕	セイラビリティ徳良湖(徳良湖ヨット倶楽部)
西野 典明	パラセーリング東京
曾根 陽子	パラセーリング東京
和田 仁一	セイラビリティ江の島
岩根 一己	セイラビリティ江ノ島
江島 圭	セイラビリティ江の島
藤本 蒼生	セイラビリティ三重
矢野 健太郎	和歌山県セーリング連盟
頓田 明子	セイラビリティ広島あびの会
小野澤 秀典	セイラビリティ高松
長谷 吉晃	セイラビリティ高松
山田 幸永	セイラビリティ高松

ハンザ303 2人乗り

後藤 一也・稲葉 典之	徳良湖ヨット倶楽部
-------------	-----------

第3回パラセーリング全日本選手権大会2024

ハンザ2.3 1人乗り

河野 裕介	セイラビリティ高松	男
濱田 美穂	パラセーリング東京	女
東谷 瞳	セイラビリティ三重	女

ハンザ303 1人乗り

西野 典明	パラセーリング東京	男
和田 仁一	セイラビリティ江の島	男
藤本 蒼生	セイラビリティ三重	男
曾根 陽子	パラセーリング東京	女



この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されます。